

ICT 通信 3月号

今回の ICT 通信は手術室が担当します。
中央材料室では、手術に使用する器械の滅菌を行っています。
手術での感染を起こさないための一つとしてとても大切なことです。

滅菌とは

物質からすべての微生物を殺滅または除去することです。

滅菌が出来る機械

高圧蒸気滅菌・酸化エチレンガス滅菌・過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌・過酸化水素ガス低温滅菌等があります。当院では、**高圧蒸気滅菌と過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌の2種類で滅菌業務を行っています。**

高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）とは

オートクレーブ内の圧力を高温の蒸気で上げることによって細菌や微生物の蛋白質を変性させ死滅させる滅菌法です。高圧蒸気滅菌は飽和蒸気を用いることでその他の熱による滅菌（煮沸滅菌、乾熱滅菌）よりも低温・短時間で滅菌することが出来ます。

過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌とは

プラズマ滅菌とは過酸化水素を用いた滅菌法です。他の滅菌用ガスと比べて毒性が低く低温・低湿度条件下（50℃以下、50%RH 以下）で滅菌することが出来ます。

当院ではこの2種類の滅菌機を用いて器械や医療器材の滅菌を行っています。**感染を防ぐには滅菌された、器械を使用すればいいというわけではありません。**きちんとした手洗い、適正な抗生剤の使用、手術中の2重手袋や適正なガウン患者さんの栄養状態、身体の清潔、口腔内の清潔、禁煙、など注意しなければいけないことがたくさんあります。



手術室 神谷